



2024年5月期(第38期) 第3四半期決算

株式会社ウェザーニューズ
2024年4月5日



1. 2024年5月期 第3四半期決算概要
2. 2024年5月期 業績予想
3. 2024年5月期 第3四半期決算 事業別分析
4. 中期経営計画の取り組み状況

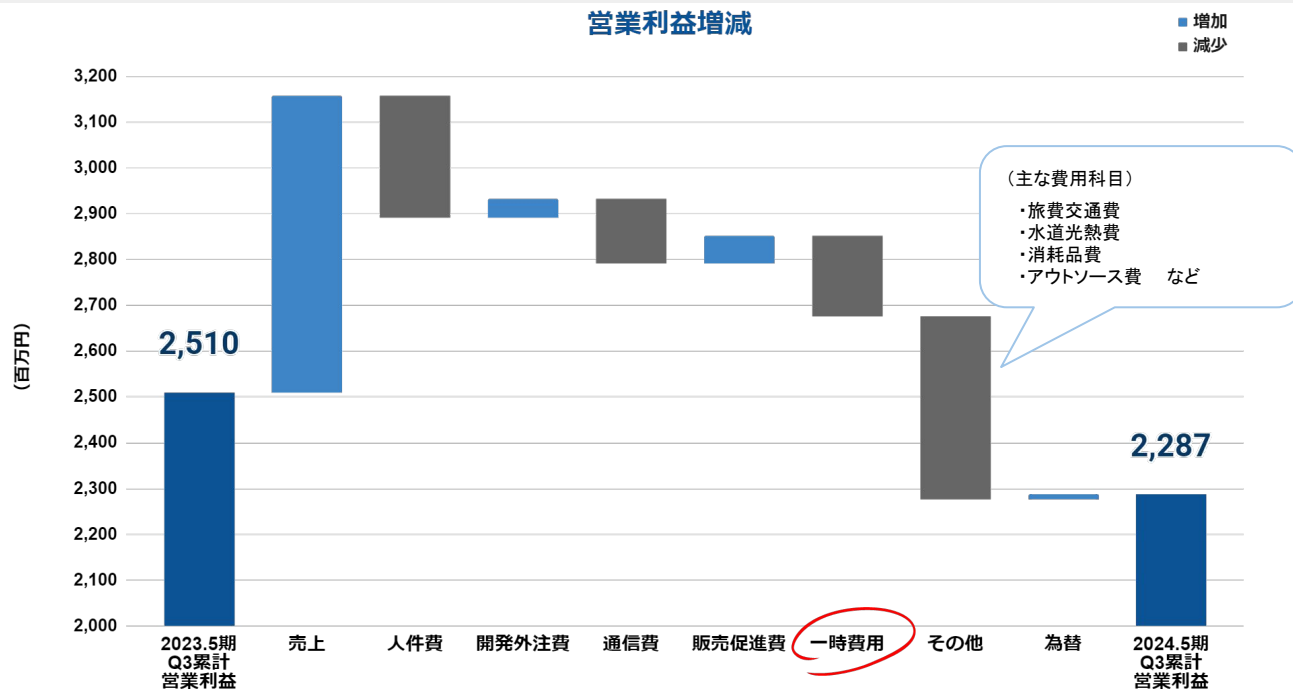
【売上】 16,658百万円(前年同期比5.4%増):モバイル、陸上、航海気象事業が売上成長を牽引

【営業利益】 2,287百万円(前年同期比8.9%減):一時費用(主に外注費、レーダー関連費用)等の影響で減益

単位:百万円	2023.5 Q3累計 実績	2024.5 Q3累計 実績	前年同期比
売上高	15,804	16,658	+5.4%
営業利益	2,510	2,287	△8.9%
営業利益率 (%)	15.9	13.7	△2.2Pt
経常利益	2,577	2,337	△9.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,803	1,749	△3.0%
EPS (円)	163.8	158.5	△5.3円
為替 (JPY/USD) (円)	137.4	146.1	+8.7円

営業利益の増減

- 海外事業人財、及びSaaSプロダクト開発などのIT人財などの強化で人件費が増加
- クラウドベースのサービス開発環境の拡大に伴い通信費が増加
- 気象状況に鑑みた柔軟な広告投資を実施し、販売促進費は減少
- 外注費(Q2)、レーダーに関する処分費用(Q3)などの一時費用が発生



2. 2024年5月期 通期業績予想 業績予想サマリ

■ 期初計画から変化なし

【売上】 22,500百万円(前期比 6.6%増)

モバイル気象事業の成長継続、BtoB事業(主に陸上・環境気象事業)の拡大で増収を計画

【営業利益】 3,500百万円(前期比 7.5%増)

広告投資、人財投資、SaaSビジネス拡大に向けたデータ・クラウドへの投資を継続

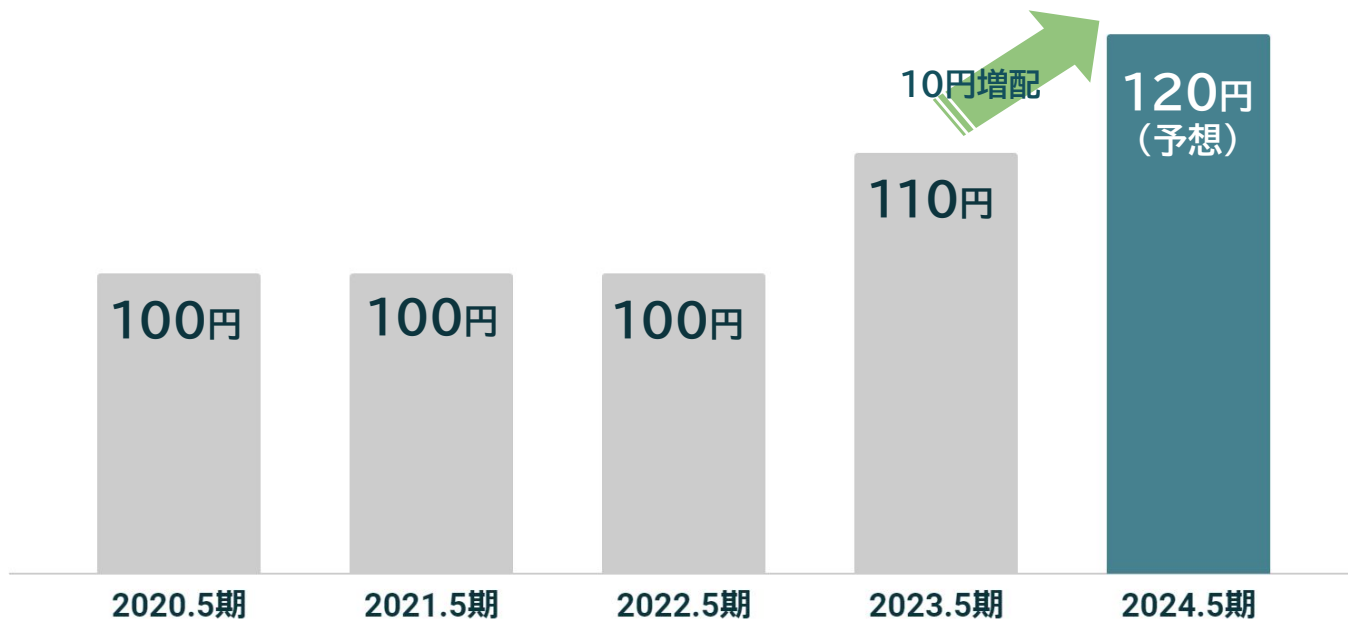
【変動要素】 ・モバイル気象事業の売上が当初想定より緩やかな成長となる可能性

・期初計画外の一時費用が発生する可能性

・広告投資額が期初計画を下回る可能性

単位:百万円	2023.5実績	2024.5計画	前期比
売上高	21,114	22,500	+6.6%
営業利益	3,256	3,500	+7.5%
営業利益率 (%)	15.4	15.6	+0.2Pt
経常利益	3,284	3,500	+6.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,398	2,500	+4.3%
EPS (円)	217.7	226.5	+8.8円
ROE (%)	13.7	13.2	△0.5Pt
為替 (JPY/USD) (円)	135.5	130.0	△5.5円

- 「高貢献、高収益、高分配」の考えのもと、中長期にビジネスを推進する戦略的事業投資を優先しつつ、長期安定配当として株主資本配当率(DOE)3%程度を基準とし、最適な自己資本水準及び投資環境、利益等を総合的に考慮して配当を決定
- 当期(2024.5期)は1株当たりの年間配当を120円とする予定



3. 2024年5月期 第3四半期決算 事業別分析

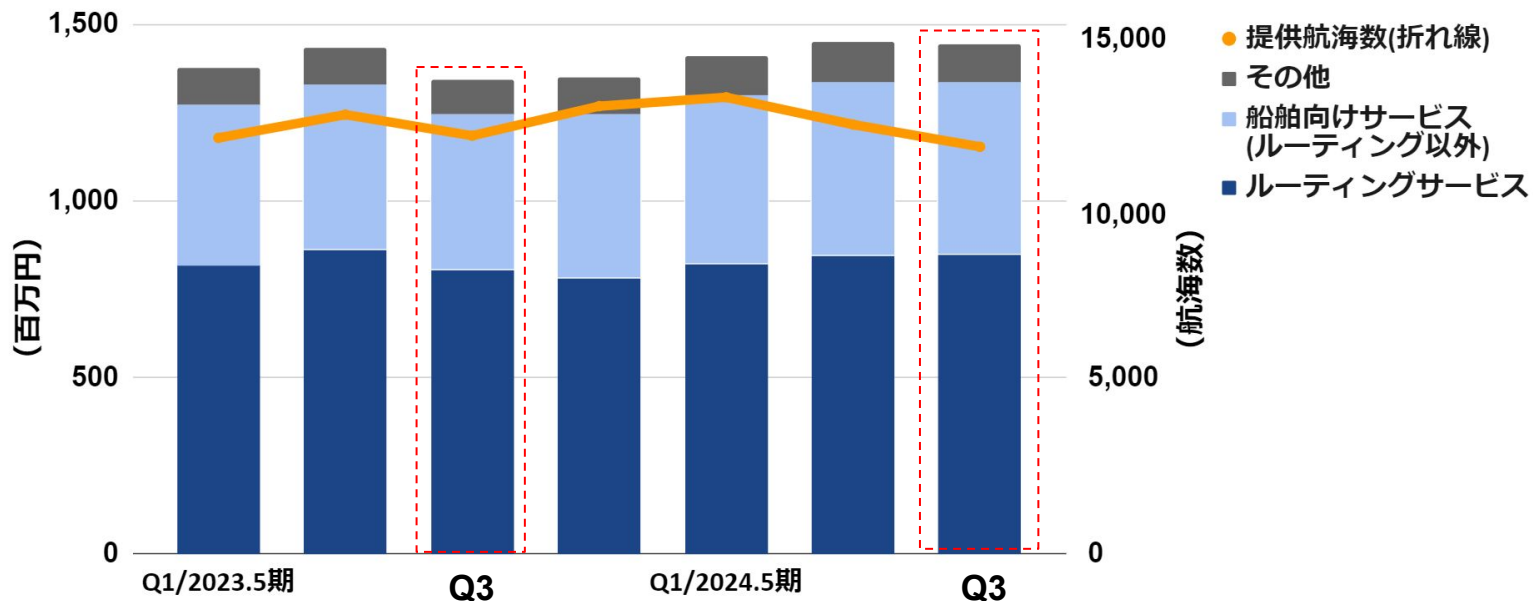
事業別売上

単位:百万円	2023.5 Q3累計 実績	2024.5 Q3累計 実績	前年同期比 (%)	事業状況
航海気象	4,153	4,308	+3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ船の新造船竣工などで船舶供給量が回復する一方、バルク船需要の低迷が継続し、全体的に荷動きは軟調に推移 ・紅海の物流混乱などの影響で全体のサービス提供数は減少するも、米州では提供数が増加。為替の影響もあり全体では増収
航空気象	946	939	△0.7	<ul style="list-style-type: none"> ・エアライン市場において、新型コロナにかかる各種制限の緩和・撤廃により国内・国際線ともに旅客数の回復が継続 ・国内外のエアライン市場向け売上の回復が継続したものの前年同期比で減収※ (※前第1四半期における、連結決算日との間に生じた重要な取引に関わる必要な調整に伴う一時的な影響を除くと増収)
陸上気象	2,407	2,572	+6.9	<ul style="list-style-type: none"> ・極端気象発生時の拠点防災や輸送影響など、物流における安全確保の観点で気象情報のニーズが高まる ・高速道路市場において、地域特性を加味した気象情報の提供により顧客数が増加し増収
環境気象	774	886	+14.5	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と欧州の再エネ市場の拡大によるエネルギー気象全般の市場性の高まりが継続。 ・SaaS型プロダクトサービス「ウェザーニュース for business」の日本における好調な販売により増収
その他BtoB	28	90	+214.4	<ul style="list-style-type: none"> ・気候テック事業において、国内企業を中心に気候変動リスク分析サービス「Climate Impact」の採用社数が増加し増収
Eメール・インターネット気象	5,842	6,211	+6.3	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビCM等の広告投資の継続および日本国内の気象トピックへの注目の高まりにより、DAUが引き続き増加 ・サブスクリプションのうちキャリア向け売上が減少するも、広告市況の改善やDAU増加で広告収入が増加し全体では増収
放送気象	1,650	1,648	△0.1	<ul style="list-style-type: none"> ・防災報道において、極端気象に伴う大雨、猛暑などの気象情報の重要性がますます高まる ・テレビ局等の主要顧客において事業環境の構造的な変化に伴うコスト見直しの動きが続いたことで減収

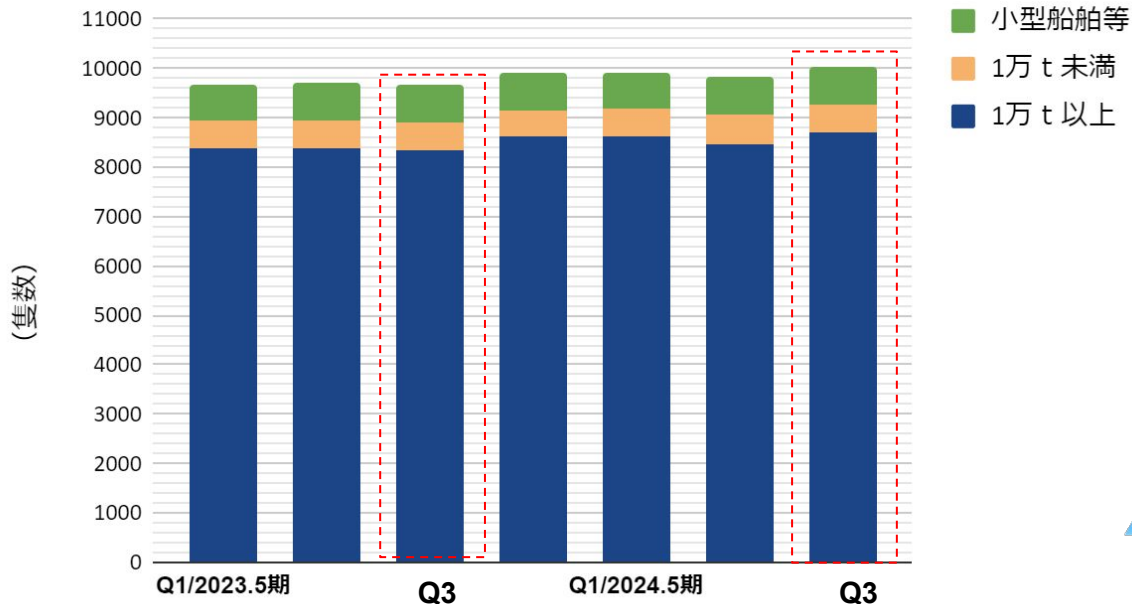
【市況】 船舶供給量が回復する一方、バルク船需要の低迷などもあり荷動きは軟調に推移

【業績】 紅海の物流混乱の影響でサービス提供航海数の総数は減少するも、米州では増加。
また為替影響もあり航海気象全体では増収

売上高および提供航海数の四半期推移

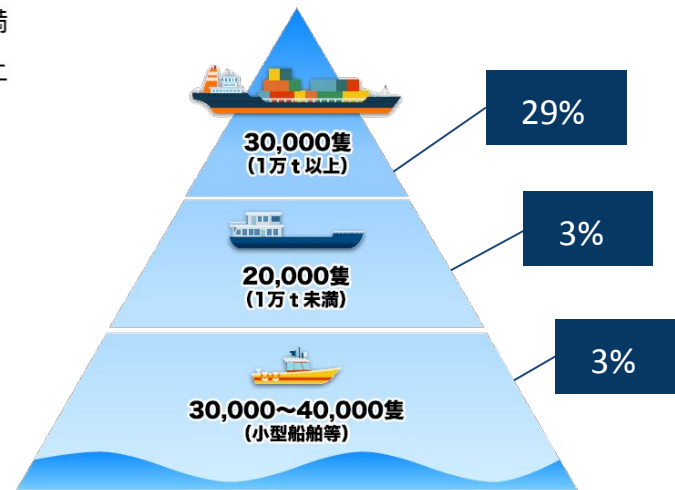


サービス提供隻数



当社サービスを利用している隻数
(複数サービス利用時も1隻カウント)

航海気象事業のTAMと 当社占有率(2024.5期Q3時点)



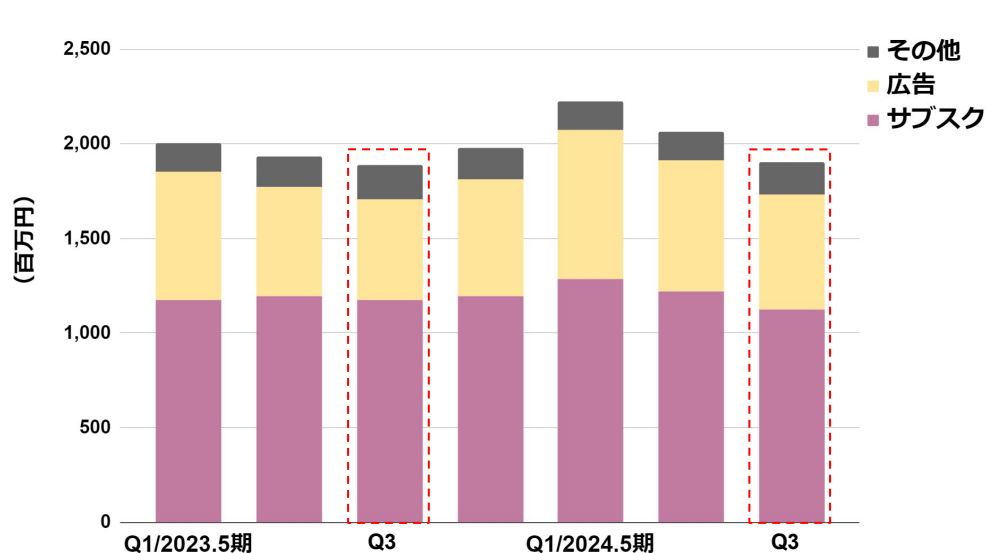
中期経営計画TAM別の隻数

3. 2024年5月期 第3四半期決算 事業別分析

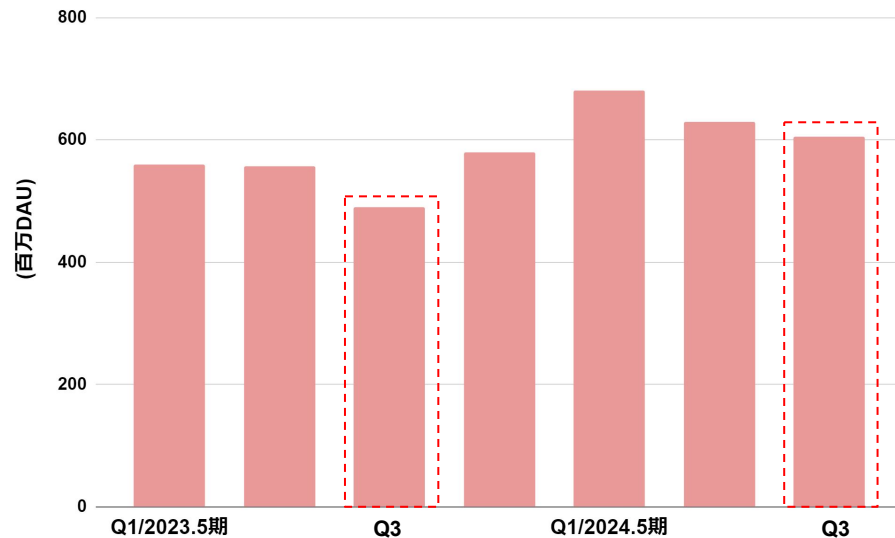
モバイル・インターネット気象事業の詳細

- 広告投資による認知度向上や気象トピックの注目が高まり、前年同期比で累積DAUが増加
- アプリユーザー数が増加するも、キャリア向け売上の減少でサブスクリプション売上が減少
- 広告市況の改善などを背景に広告収入が増加し、モバイル事業全体では増収

売上高 四半期推移



累積DAU 四半期推移



4. 中期経営計画の取り組み状況 気象データ戦略のアップデートについて

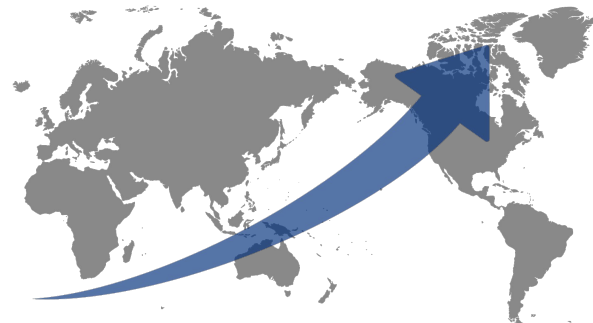
- 当期より、自社の強みの一つであるデータの充実に関して見直しを実施
- 独自開発の気象観測インフラの一つであるEAGLEレーダーの生産台数の見直し(減少)を決定
当第3四半期においてその処分費用を一時費用として計上
- 今後、グローバルで取得可能な気象データ取得の取り組みを一層加速させていく



高頻度観測小型気象レーダー「EAGLEレーダー」



小型・軽量の新型気象IoTセンサー「ソラテナPro」

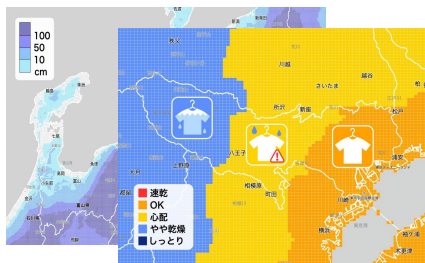


全世界の気象・気候のローカルデータの整備を
目指してデータ取得を加速

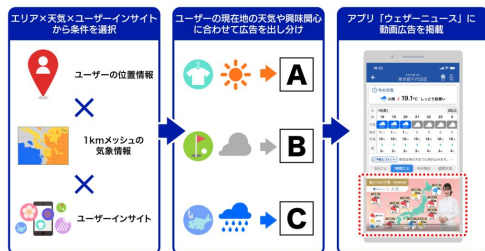
4. 中期経営計画の取り組み状況

SaaSビジネスの展開状況

- 中計戦略の一つである『SaaSモデルによる新たな顧客層の開拓』について、顧客数及び売上は着実に増加
引き続き顧客数の拡大とプロダクトの充実を進める
- モバイル・インターネット、環境、陸上の3つの事業を中心にSaaSビジネスが成長
現在の主要なSaaS型サービスは WxTech data / WxTech Ads / WxTech IoT / ウェザーニュース for business



▲WxTech data (API・CSV)



▲WxTech Ads (天気連動広告)



▲ウェザーニュース for business



▲WxTech IoT(ソラテナPro)



APPENDIX

単位:百万円	2023.5 Q3 実績	2023.5 期末 実績	2024.5 Q3 実績
流動資産	15,932	17,377	17,322
固定資産	3,573	3,602	3,463
資産合計	19,506	20,979	20,786
流動負債	1,632	2,300	1,505
固定負債	94	278	249
負債合計	1,727	2,579	1,754
純資産合計	17,778	18,400	19,031
自己資本比率 (%)	90.7	87.3	91.1
1株あたり純資産 (円)	1,605.0	1,661.2	1,714.7

単位:百万円	2023.5 Q3 実績	2024.5 Q3 実績	前年 同期比
売上高	5,318	5,507	+3.6%
営業利益	1,238	1,024	△17.3%
営業利益率 (%)	23.3	18.6	△4.7Pt
経常利益	1,267	1,053	△16.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	881	731	△17.1%
EPS (円)	80.0	66.2	△13.8円
為替 (JPY/USD) (円)	132.7	146.8	+14.1円

単位:百万円	2023.5 Q3 実績	2024.5 Q3 実績	前年同期比
航海気象	1,343	1,445	+7.6%
航空気象	301	322	+7.3%
陸上気象	908	947	+4.4%
環境気象	300	304	+1.7%
その他BtoB	11	32	+194.3%
モバイル・インターネット気象	1,891	1,910	+1.0%
放送気象	564	547	△2.9%

単位:百万円	2023.5期				2024.5期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
航海気象	1,378	1,432	1,343	1,350	1,411	1,452	1,445
航空気象	334	311	301	289	301	316	322
陸上気象	734	765	908	795	802	823	947
環境気象	225	249	300	270	286	296	304
その他BtoB	7	10	11	22	22	36	32
モバイル・インターネット気象	2,011	1,940	1,891	1,987	2,229	2,072	1,910
放送気象	532	554	564	597	525	576	547



当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、業績予想など将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる場合があります。